

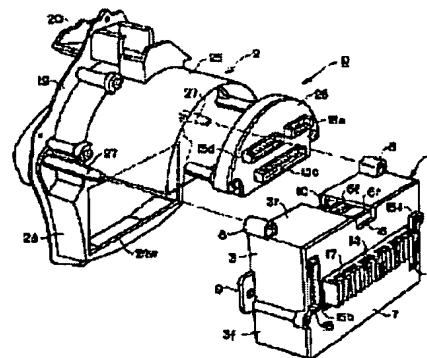
DISPLAY DEVICE FOR PACHINKO MACHINE

Publication number: JP6154400
Publication date: 1994-06-03
Inventor: MATSUBARA NOBUO
Applicant: SANYO BUSSAN KK
Classification:
- **International:** A63F7/02; A63F7/02; (IPC1-7): A63F7/02; A63F7/02
- **European:**
Application number: JP19920335522 19921121
Priority number(s): JP19920335522 19921121

[Report a data error here](#)

Abstract of JP6154400

PURPOSE:To provide the display device D for a PACHINKO machine, which curtails a waste cost of a conventional device, and also, can be executed an attaching/detaching (replacing) work to and from a game board. **CONSTITUTION:**The display device D for a PACHINKO machine is attached to the game board surface of the PACHINKO machine, and fluctuates and displays a numeral, a graphic, etc. The display device D for a PACHINKO machine is formed by dividing it into a display function part 1 and a decorative cover part 2, and also, positioning guide parts 8, 27 are formed in the display function part concerned 1 and the decorative cover part 2, respectively, the decorative cover part 2 is fixed to the surface of the game board, and also, the display function part 1 is fixed to the reverse side of the game board by fitting the own positioning guide part 8 to the positioning guide part 27 of the decorative cover part 2.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-154400

(43)公開日 平成6年(1994)6月3日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 F 7/02	3 2 0	7017-2C		
	3 1 0 C	8703-2C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号	特願平4-335522
(22)出願日	平成4年(1992)11月21日

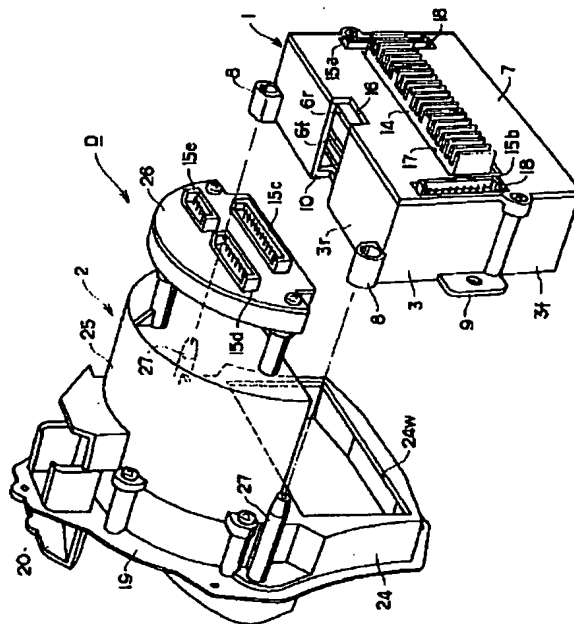
(71)出願人	000144522 株式会社三洋物産 愛知県名古屋市千種区今池3丁目9番21号
(72)発明者	松原 信男 愛知県名古屋市千種区今池三丁目9番21号 株式会社三洋物産内
(74)代理人	弁理士 武蔵 武

(54)【発明の名称】 パチンコ機用表示装置

(57)【要約】

【目的】 従来装置の無駄なコストを削減し、且つ、遊技板への着脱(交換)作業が容易なパチンコ機用表示装置Dを提供する。

【構成】 パチンコ機用表示装置Dは、パチンコ機の遊技板面に取り付けられ、数字や図形等を変動表示するものである。本発明のパチンコ機用表示装置Dは、表示機能部1と裝飾カバー部2とに分割して形成すると共に、該表示機能部1と裝飾カバー部2に夫々位置決めガイド部8、27を形成し、裝飾カバー部2を遊技板の表面に固着すると共に、表示機能部1を前記裝飾カバー部2の位置決めガイド部27に自己の位置決めガイド部8を嵌合させて遊技板の裏面に固着するようにしたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 パチンコ機の遊技板面に取り付けられ、数字や図形等を変動表示するパチンコ機用表示装置において、

該パチンコ機用表示装置を表示機能部と装飾カパー部とに分割して形成すると共に、その表示機能部と装飾カパー部に夫々位置決めガイド部を形成し、装飾カパー部を遊技板の表面に固着すると共に、表示機能部を前記装飾カパー部の位置決めガイド部に自己の位置決めガイド部を嵌合させて遊技板の裏面に固着するようにしたパチンコ機用表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、数字や図形等を変動表示するためにパチンコ機の遊技板に取り付けられるパチンコ機用表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 パチンコ機用表示装置Dは、例えば図6に示すようなデジタル式のパチンコ機Pに使用されるもので、始動入賞口S、Sへの入賞を受けて数字等の表示が変動を開始し、所定時間の経過か又は停止ボタンの入力によって前記変動が停止するように設定されている。パチンコ機Pは、パチンコ機用表示装置Dの停止時の表示が所定の組合せである場合に大当たり状態となって、下側の入賞装置Aを所定の条件で作動させる。而して、従来のパチンコ機用表示装置Dは、取付基盤を主とする装飾カパー部と、セグメント表示器やドットマトリックスディスプレイを収納するケース体とが一体成形されており、該ケース体内にセグメント表示器等をビス止めして内蔵し、前記取付基盤を遊技板Bにビス止めしてパチンコ機Pに取り付けるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 パチンコ機用表示装置Dは、パチンコ機のモデルチェンジに合わせてデザインが変更される。しかし、表示機能自体は何等変わらないため、パチンコ機用表示装置Dのデザイン変更と言っても装飾カパー部のデザインのみを変えるケースが殆どである。ところが、上記のようにパチンコ機用表示装置Dは、装飾カパー部と表示機能部が一体になっていたため、本来変更の必要のない表示機能部をも含めて設計・加工しなければならぬから無駄なコストが掛かり、しかも、金型の形状が複雑になるから金型代が高くなり、型抜きが面倒であるため作業性も悪い等、多くの問題点があった。また、これまでのパチンコ機用表示装置Dは、全体が1個の部品として取り扱われるものであったため、故障時にパチンコ機Pから取り外すために、先ず遊技板の裏側にある機構板を開いてパチンコ機用表示装置Dから接続ケーブルを外し、次にパチンコ機のガラス扉枠Gを開いて取付基盤のビスを外し、その状態でパチンコ機用表示装置D全体をそっくり遊技板Bから抜き取

り、また、修理後か或いは別の正常なパチンコ機用表示装置Dを取り付ける場合にも逆の工程が必要であって、パチンコ機用表示装置Dの着脱（交換）作業が極めて面倒で時間が掛かる問題点もあった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記の問題点を解消するため本発明は、パチンコ機の遊技板面に取り付けられ、数字や図形等を変動表示するパチンコ機用表示装置において、該パチンコ機用表示装置を表示機能部と装飾カパー部とに分割して形成すると共に、その表示機能部と装飾カパー部に夫々位置決めガイド部を形成し、装飾カパー部を遊技板の表面に固着すると共に、表示機能部を前記装飾カパー部の位置決めガイド部に自己の位置決めガイド部を嵌合させて遊技板の裏面に固着するようにしたパチンコ機用表示装置を提供するものである。

【0005】

【作用】 装飾カパー部と表示機能部が別体であるため、パチンコ機用表示装置のデザインを変更する場合に、装飾カパー部のみの変更で対応できる。また、装飾カパー部の形状がシンプルになるから、その分金型代が安くなると共に、型抜きが容易になって作業性も向上する。一方、表示機能部は変更なくそのまま製造できるため、量産によるコストダウンが可能であり、総合的にパチンコ機用表示装置のコストを下げることができる。また、パチンコ機用表示装置が故障しても、遊技板の裏側から表示機能部のみを簡単に交換することができるため、迅速にパチンコ機を再稼働させることができ、パチンコ機用表示装置の故障に起因する損害が最小限で済む。

【0006】

【実施例】 以下に本発明の実施例を図面を参照しつつ説明する。なお、図1は装飾カパー部と表示機能部を分離して示すパチンコ機用表示装置の斜視図、図2はパチンコ機用表示装置の斜視図、図3は一部を切り欠いて示すパチンコ機用表示装置の側面図、図4は表示機能部の斜視図、図5は表示機能部の分解斜視図、図6はパチンコ機の正面図である。パチンコ機用表示装置Dは、図1に示すように、表示機能部1と装飾カパー部2の独立した2つの部品により構成されている。

【0007】 表示機能部1は、図5に示すように、後面が開放された箱型のケース体3と、該ケース体3の前面板3fに開設されている四角い窓開口3wを塞ぐ断面薄板形状のレンズ板4と、ドットマトリックスディスプレイ5と一体の表示制御基板6と、前記ケース体3の後面を塞ぐ蓋板7とからなる。前記ケース体3は、上面板3rの前方両角部に筒状の位置決めガイド部8を有すると共に、前面板3fの両側に取付片9が延設されている。ケース体3の上面板3rは、中心位置に設けた開口10で分断された形態であり、この開口10がリード線等の通過領域となる。また、ケース体3の前面板3fの内側には、前記表示制御基板6を取り付けるネジ筒11が窓

開口3wのコーナー部分に突設されている。前記レンズ板4は、有色透明な合成樹脂製であり、各コーナー部分から突設した突片4aが前記ネジ筒11に当たってケース体3内に位置決めされる。前記表示制御基板6は、2枚のプリント基板6f、6rを一体に連結した構成であり、前側のプリント基板6fにドットマトリックスディスプレイ5が接続固定されている。一方、後側のプリント基板6rには、ディスプレイドライブ用の半導体素子13を介して放熱フィン14が固着されると共に、両側にケーブル接続用のコネクタ15a、15bが固着されている。なお、本実施例は、細長い放熱フィン14を一個だけ使用し、真っ直ぐ横一線に並べた複数の半導体素子13、13…を恰も橋桁にするような形態で該放熱フィン14を取り付けたが、このような構成を採用すれば、個々の半導体素子13、13…に個別に放熱フィン14を設ける場合に比べて、放熱フィン14の取り付け作業が簡単且つ迅速に行えたと共に放熱フィン14を大きくすることができるため高い冷却効果を得ることができる、等の効果がある。前記蓋板7は、ケース体3の後面に合致する形状の合成樹脂板であり、前記ケース体3の上面板3rの開口10に対応する凹欠部16と、放熱フィン14を通す放熱用開口17及びコネクタ15a、15bを通すコネクタ用開口18が設けられ、ケース体3の後面にビス止めされる。

【0008】一方、装飾カバー部2は、図1～図3に示すように、遊技板Bに固着するための取付基盤19を中心として、その前面に、通常の入賞口20と、図6の始動入賞口Sへの入賞記憶個数を表示するLED21や、大当たり状態において入賞装置Aへの入賞個数や作動回数等を表示するセグメント表示器22、23等を有する。取付基盤19の裏面には、遊技板Bの板厚に相当する奥行き周枠24が突設されており、その周枠24の上半分に適宜な装飾装置（図示せず）を収納するボックス25が形成されている。なお、該ボックス25の後方には、コネクタ15c、15d、15e取付用の基板26が固着されている。前記周枠24の下半分は、表示機能部1のセット領域であり、表示機能部1の窓開口3wに合致する窓孔24wが開設されている。また、取付基盤19の裏面には、表示機能部1の位置決めガイド部8に嵌まり得るピン形状の位置決めガイド部27が突設されている。なお、この位置決めガイド部27は、表示機能部1の位置決めガイド部8に挿入し易くするために先端が円錐台形状になっている。

【0009】次に、パチンコ機用表示装置Dの遊技板Bへの着脱方法について説明する。まず、遊技板Bに取り付けるに際して、装飾カバー部2と表示機能部1を図1のように分離させておく。そして、装飾カバー部2を遊技板Bの表側から該遊技板Bに穿設した取付穴Hに挿通し（図3参照）、取付基盤19を遊技板Bにビス止めする。次に、遊技板Bの裏側から、位置決めガイド部27

を装飾カバー部2の位置決めガイド部8に嵌めながら表示機能部1をスライドさせ、該表示機能部1の前面板3fを装飾カバー部2の周枠24に密着させる。この状態で表示機能部1の取付片9にビスを通して遊技板Bの裏面に固着する。これにより装飾カバー部2と表示機能部1が遊技板Bを介して結合される。なお、装飾カバー部2と表示機能部1は、コネクタ15a、15cを介してケーブル（図示せず）で電氣的に接続される。なお、パチンコ機用表示装置Dの表示機能部1が故障した場合は、遊技板Bの裏側から取付片9のビスを外し、位置決めガイド部8、27に沿って表示機能部1を真っ直ぐ後方にスライドさせれば簡単に取り外すことができる。

【0010】以上本発明の実施例について説明したが、もちろん本発明は上記実施例に限定されるものではない。例えば、上記実施例では、表示機能部1を遊技板Bの裏面にビス止めするように構成したが、図7に示すように、装飾カバー部2の位置決めガイド部27の先端に弾力性のある鍵片28を形成し、該鍵片28を表示機能部1の位置決めガイド部8に係合させるようにしてもよい。この場合には、上記実施例よりさらに表示機能部1の着脱が短時間でできる。また、実施例は、装飾カバー部2の位置決めガイド部27をピン形状に、表示機能部1の位置決めガイド部8を筒形状にしたが、両位置決めガイド部8、27の形状はその逆であってもよく、互いに嵌まり合うものならどのような形状であってもよい。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、パチンコ機用表示装置Dを装飾カバー部2と表示機能部1とに分割して形成したため、パチンコ機用表示装置Dのデザインを変更する場合に、表示機能部1は変更なくそのまま製造し、装飾カバー部2のみについて設計・加工すれば良いから、従来技術のような無駄なコストが掛からない。また、装飾カバー部2の形状がシンプルになるから、その分金型代が安くなると共に、型抜きが容易になって作業性も向上する。一方、表示機能部1は設計変更の必要がないため、量産によるコストダウンが可能であり、総合的にパチンコ機用表示装置Dのコストが下がる。また、パチンコ機用表示装置Dが故障しても、遊技板の裏側から表示機能部1のみを簡単に交換することができるため、迅速にパチンコ機を再稼働させることができ、パチンコ機用表示装置の故障に起因する損害を最小限で済ませ得る効果をも発揮する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 装飾カバー部と表示機能部を分離して示すパチンコ機用表示装置の斜視図である。

【図2】 パチンコ機用表示装置の斜視図である。

【図3】 一部を切り欠いて示すパチンコ機用表示装置の側面図である。

【図4】 表示機能部の斜視図である。

【図5】 表示機能部の分解斜視図である。

5

6

【図6】 パチンコ機の正面図である。

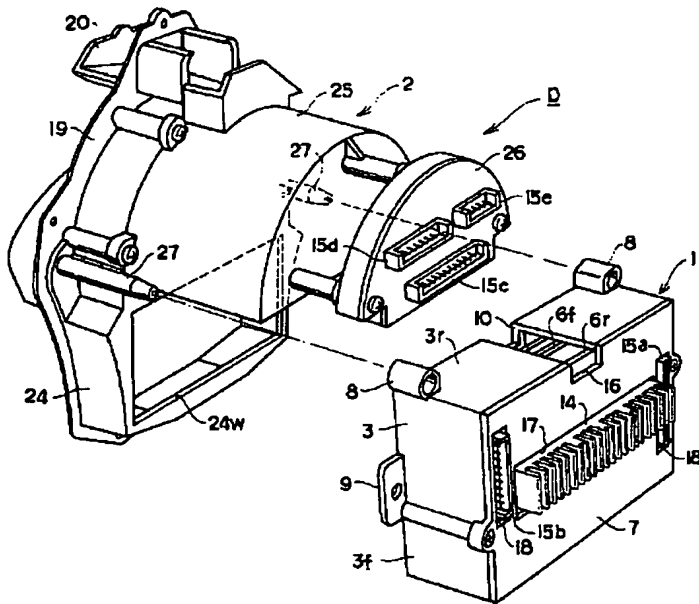
【図7】 他の実施例を示す要部の断面図である。

【符号の説明】

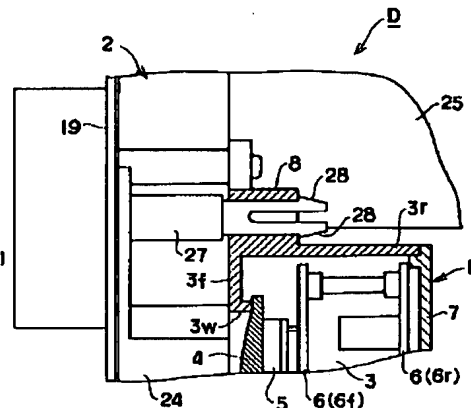
- 1 …表示機能部
2 …装飾カバー部

- 8 …表示機能部の位置決めガイド部
27…装飾カバー部の位置決めガイド部
P …パチンコ機
D …パチンコ機用表示装置
B …遊技板

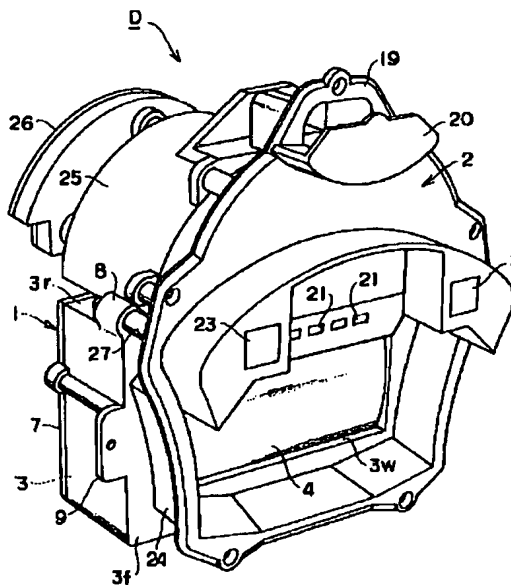
【図1】



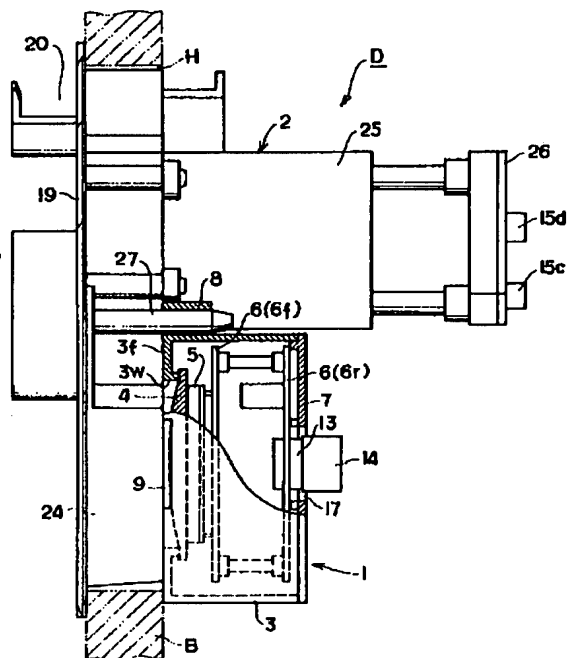
【図7】



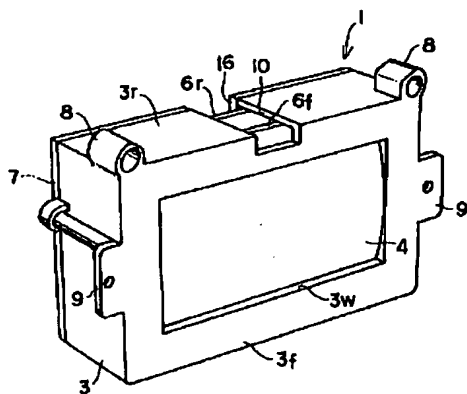
【図2】



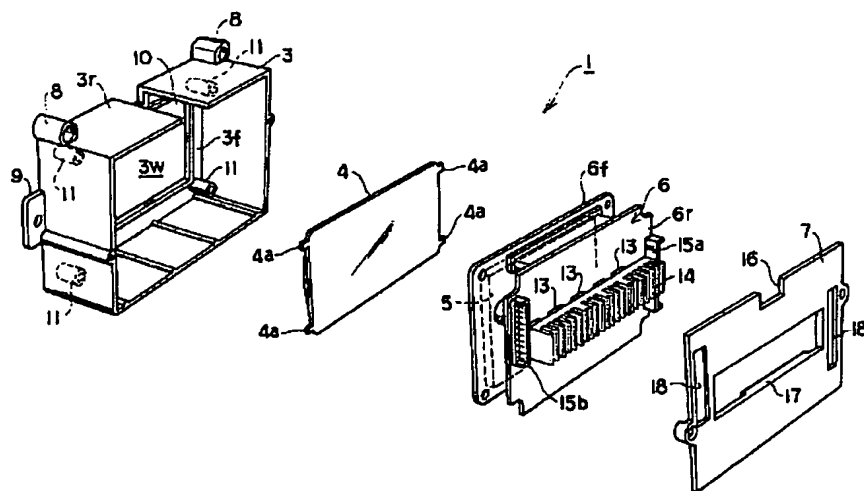
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

